



特定非営利活動法人 印旛沼広域環境研究会

〒285-0857 佐倉市宮ノ台 1-3-1-508

E-mail:npo-inba@ar.wakwak.com

2025年11月号

発行人 高橋 修

印 刷 NPOいんば

No.37

皆様のご支援のお陰で、2025年度事業計画により新しい試みも含めて順調に活動しています。

本号は2003年から継続している「水草バンクシステム訪問」の様子を中心、上半期の活動をお知らせします。

・・・・・NPOいんばの活動日誌：2025（令和7年度）・・・・・

- | | |
|----------|---|
| 4月5日 | 水資源機構大和田機場にてお花見交流 |
| 5月9～10日 | かっぱ公園、笠井記念水草園草刈り、整備 |
| 5月16日 | マリーゴールドほか植え付け |
| 5月25日 | 令和7年度 通常総会 |
| 6月12日 | 小竹小学校出前講座 4年生61名 |
| 6月14日 | コスモス種まき |
| // | 笠井記念水草園にてイヌタヌキモ繁茂・開花を確認 |
| 6月16～30日 | ミウズフェスティバル 2025 |
| 6月19日 | 間野台小学校出前講座 5年生79名 |
| 7月26日 | 「親子で印旛沼体験」開催 |
| 7月31日 | 水草バンクシステム校訪問 志津・臼井地区 5校 |
| 8月1日 | 水草バンクシステム校訪問 佐倉地区 6校 |
| 8月21～23日 | ナガエツルノゲイトウ除去 IVUSA 53名他 |
| 8月22日 | ナガエツルノゲイトウ除去 社協こどもボランティア体験 6名 |
| 9月27日 | 間野台小による「水草をお里帰り」の準備 |
| 10月2日 | 間野台小5年生による「アサザの移植とモグリウムにインバモとイヌタヌキモを植え付け」TEIRE（水循環健全化会議による支援） |

ナガエツルノゲイトウとは

ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定されています。

主に水辺で生息する「ヒユ科」の多年草で、河川、水路、水田などに生息し繁茂すると、稲の倒伏、減収、機械の作業性の低下に繋がります。ナガエツルノゲイトウは、繁殖力、再生力が強く、大群集になると駆除は極めて困難であり、早期発見・早期駆除が重要になります。

水草バンクシステム 小学校訪問

令和7年7月31日～8月1日



小竹

アサザの葉が大きく花数が多い。
トチカガミ共存。



志津

3か所の池で各種類ごとに生育。
インバモの花を4輪確認。
池のアオミドロをすくい除去。



王子台

落ち葉など清掃。
初めてイヌタヌキモ開花。
マツモ確認。



千代田

トチカガミ開花。
マツモ繁茂。
雑草の除去。



間野台

コガマを間引き。
お里帰りしたアサザ・インバモ
・イヌタヌキモを確認。



佐倉

印旛沼の形に似た池からトチカガミを
笠井記念舟戸水草園に移植。
アサザ・インバモ・イヌタヌキモを確認。



佐倉東

アサザが繁茂しコガマと良いバランス。
落ち葉などを取り除く。



和田

コガマの存在は意外であり原因不明。
トチカガミを間引き。
アサザ・インバモ・マツモ確認。



弥富

スイレンと共に。
アサザ・マツモ確認。



山王

池を覆うコガマを間引き。
アサザ・インバモ確認。



寺崎

アサザとインバモがバランス良い。



アサザの開花